



平成 23 年 8 月 2 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー エ ヌ ア イ グ ル ー プ
代 表 者 名 取 締 役 代 表 執 行 役 社 長 兼 CEO イ ン ・ ル オ
(コード番号:2160 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 田 中 忍
(TEL. 03-5326-3097)

F351 ならびに F647 の用途追加の特許成立

当社の中国 100%子会社である上海ジェノミクス社（SG 社）が、当社グループの主要創薬候補物である F647（ピルフェニドン）ならびに F351（ピルフェニドンの誘導体）に関して、米国において F351 の線維症治療用途に関する特許、欧州において F647 ならびに F351 の放射線性肺炎（RP）治療用途に関する特許を取得しましたのでお知らせいたします。

米法人・インタミューン社によって開発されたピルフェニドンは、平成23年3月にIPF（肺線維症）治療薬として欧州にて承認されております。今回の特許成立によりSG社のF351ならびにF647は、RP治療薬として欧州において知的財産所有権を保護される事となりました。

肝線維症と類似する腎線維症もまた、効果的な治療薬が必要とされる疾患です。腎線維症は最終的に腎不全へとつながる疾患であり、現在 SG 社は F351 の有効性を確認する為の各種動物実験を行っております。現段階において、F351 は肝線維症及び腎線維症に対し、より優れた特徴を示しています。

以上